

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス en able		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～ 令和7年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～ 令和7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	企業見学の実施やハローワークとの連携等、就労に繋がる支援が可能です。室内での実際の作業を想定した作業訓練や自立訓練など就労を見据えた進路面のサポート体制が充実しています。 社会経験がある支援員が在籍していることで、経験談等を話すことができます。	・長期休みを利用して、企業見学や体験を行っている。 ・学校での活動や実習内容を聞き、出来た所やもっと強化できるところを聞き支援内容に組み込み「できた」「できる」をもっと増やしていきます。 ・活動の中で、報告・連絡・相談の方法を練習する。 ・連携作業を取り入れ、コミュニケーション能力の向上を目指します。	・企業での疑似体験 ・B型事業所等職種を広げることで、見学や体験を増やしていきたいです。 ・ビジネスマナーを日常から(挨拶・時間を守る・時間管理)伝えていきます。
2	小学生から高校生まで年齢層が広いが、その中で上の学年の利用者様が、下の利用者様を気遣い一緒に活動できている。また、小学生は、中学生や高校生の姿を見て「こんなこともやってみたい」「僕にもできた」と色々なことに挑戦することができている。皆と一緒に参加できる活動が増えました。	・他者理解や思いやる力を付けるため一緒に活動できる機会を増やしています。 ・年齢層に合った活動を行うために、活動を分けることがあります。	・SST、コミュニケーションスキル学習を取り入れていきたいです。 ・タブレットを使った学習を行いたいです。
3	社会経験や公共のマナーを学ぶ為に屋外活動の機会を多くしています。	・交通機関を利用することで、時刻表の見方や料金表の見方、お金の払い方の学習を行っています。 ・施設を利用している方に対するの関わり方、公共のマナーを事前学習して出かけています。 ・出かける前に、活動の目的をお話しています。	・地域との連携を積極的に行い、地域の方と一緒に活動する機会を増やしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流ができていない。 御家族等の参加ができる研修が開催できていなかった。	イベントを開催していますが、保護者の参加を促す事ができていませんでした。 また、事業所単位で保護者様が参加できる行事を企画できていませんでした。	保護者様参加のイベント、研修を企画しています。
2	バリアフリー化ができていない為、身体が不自由な方の受け入れができていません。	バリアフリーができていない為。(入口の段差、トイレの狭さ、階段がある為2階に行きにくい)	バリアフリーが必要な箇所から進めています。
3			